流拠点

整備へ

正予算案

設計にかかる経費とし
正予算案に約2170
を計上する。本年度中
計し、26年6月の着工、
度中の完成を目指す。
階では、施設の構造を
建てにする予定だが、
な機能などは年内に開
定の住民説明会などで
の要望をくみ取りなが
める。

田英人町長は「本格的
ートを切った。内容
れからだが、地域の皆
と話をしながら、一緒
めたい」と話した。

（篠原杏）

高さ1・9㍍、幅、
・1㍍、重さ約4
戸時代には製作さ
みられる。神社の
52年の鳥取大火
が、蔵に保管され
こしは焼損を免れ

付近を目指す。青木の馬場へ
続く道が〝復活〟し、渡御が
再現される。嘉永神輿保存会
の堀部孝晴会長は「ついに渡
櫓門をくぐれるのは喜ばし
い。しっかりと成功させ、今
後も続けていきたい」と意気
込む。

同会は本番に向け、みこし
の担ぎ手を15日まで募集して
いる。神社総代会の森本秋衛
会長は「渡御できるのは本当
に感慨深い。地元住民を含め、
思いのある多くの人にみこし
を持ち上げてほしい」と呼び
かけている。

160年ぶりに鳥取城への渡御が復活する嘉永みこし＝2日、鳥取市湯所町1丁目の湯所神社

とっとり方式認知症予防プログラム

台湾普及へ覚書締結

認知症研究の第一人者である鳥取大医学部の浦上克哉教授らが開発した「とっとり方式認知症予防プログラム」の台湾での普及に向け、鳥取県と浦上教授は4日、台湾のシンクタンクなどと覚書を結んだ。本格的な海外展開の第一歩として期待が高まる。

覚書を結んだのはシンクタンク「中華経済研究院」と介護業界団体「台湾高齢産業創新発展協会」。台湾で浦上教授が講演したことをきっかけに、プログラムの効果を評価した上で締結に至った。

台湾では高齢化率が20%近くに達し、65歳以上の高齢者約450万人の8%に当たる約37万人が認知症と推計される。対策が急務となる中、6大都市のデイサービスでプログラムを紹介する予定だ。

県庁であった締結式で、同協会の林峻暉（リンジュンフェ）理事長は「鳥取大の知見と研究院の分析、協会のネットワークを結集して実効性の高い予防モデルをつくりたい」と期待。平井伸治知事は「互いの症例をまとめ、プログラムを発展させるチャンス」と述べ、浦上教授は「台湾の皆さまに少しでも役立ててもらえれば」と話した。

プログラムは2018年度に県と鳥取大、伯耆町が連携して開発した。運動や座学、知的活動を組み合わせた内容で、認知機能や身体機能の向上などの効果が確認されている。県内18市町村をはじめ全国各地で導入され、海外からの問い合わせも相次いでいる。

（平塚千遼）

覚書を結んだ（左から）林理事長、平井知事、浦上教授＝4日、鳥取県庁

〝ふるさと愛
キャリア教

倉吉で県教委事務

鳥取県が推進する「ふるさとキャリア教育」の今後の在り方を考える講演会が4日、倉吉市の鳥取短期大・鳥取看護大であった。県

鳥取県内のふるさとキャリア教育の取り組み状況を語る下田氏＝4日、倉吉市の鳥取看護大・鳥取短期大

講演で下田氏は、地元企業を訪問するバスツアーや地域の課題を考える探究学習など教育現場での取り組みを紹介した。

児童生徒に自分の住んでいる地域を紹介する動画を作ってもらう「ふるさとキャリア教育CMコンテスト」（県教委主催）に関し、児童生徒が応募作品の動画を使ったPR用パンフレット

6年生と中学3年生を対象に行う全国学力・学習状況調査における自己肯定感や郷土愛に関する設問の結果で、前向きな回答が年々増えていることにも触れ、「心の中に大切なふるさとを持てる子どもを育てるため、今後も種まきとなるような教育を進めたい」と締めくくった。両大の教授や学生らによるトークセッションもあった。

講演は、授業内容や学校運営の質の向上を目的に、県内の高等教育機関などでつくる「とっとりプラットフォーム5＋α」が企画した研修会の一環。オンライン参加も含め、約120人が出席した。

（伊垣離真奈）

県内、来春高校卒業予定の就職希望者

求人倍率過去最高2.76倍

2026年3月卒業予定の鳥取県内の高校生のうち就職希望者802人（7月末現在）に対して求人数は2215人となり、求人倍率は2.76倍で過去最高を記録したことが、鳥取労働局のまとめで分かった。求人倍率は20年以降、人手不足を背景に上昇が続いている。

卒業予定者のうち就職希望者は全体の17.9%（前年同期比0.1ポイント減）。7割以上が県内での就職を希望しているが、県外への就職希望者は前年同期より32人多い201人となった。増加率は18.9%。鳥取労働局は「県外企業が積極的に求人活動を行っており、昨年に比べて県外就職の志向が強まっている」と指摘する。

業種の内訳では、建設や製造、金融・保険、サービスで前年より求人がある一方、製造や運輸、小売では採用を控える動きが

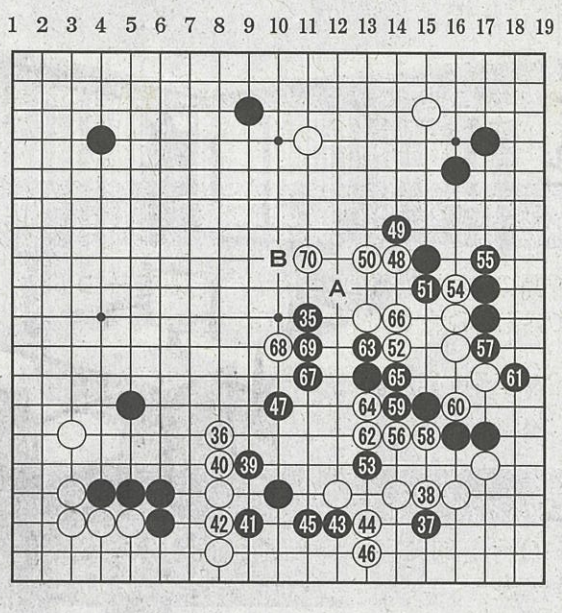
高校生の採用選考は16日に

第44期 女流本因坊戦

《協賛 JA共済連 共栄火災》

本戦2回戦【第6局】第3譜（36—70）

○女流名人 上野愛咲美
●八段 吉田 美香（6目半コミ出し）



さすがの大局観

両者の対戦成績は上野1勝。本局が2度目の対戦だ。

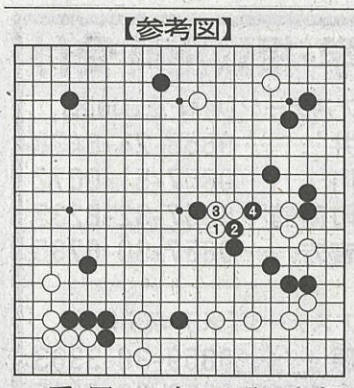
右辺白を攻める黒35のボウシに対し、脅しに屈せず、白36のトビは気合の一手。この手で参考図、白1とハザマをついての反撃は黒2、4で右側を持っていかれる。

また、黒35に白Aと逃げるのは、黒Bで攻めの調子がついて主導権を握られてしまう。白36は右辺白を捨てることも視野に入れた反発で、さすがの大局観だ。

ここからの黒の石運びが重かった。

寺山怜六段

【参考図】



「黒37からの一連の構想が問題で、白48から逃げ出せば黒も薄い。ずっとその薄みをみているのが上野さんの強さ」。

黒53からは細かい攻防で、差し手争いのようなもの。黒が61まで少し地を増やしたものの、白が攻勢に立ってペースをつかんだ。

「白70にトンで白が面白くなっている」と寺山六段。

（榎本弘幸）

……

（黒35は再掲）

持ち時間各3時間
消費 ○ 31分
●1時間15分

石を考えた勝利は1年前のNHK杯本戦。当時の羽生は三冠を保持しており、20代前半の若手にとってはまさに雲の上の人だった。

NHK杯の終わったあとに大石と飲みに行ったのだが、終始フワフワと浮つきながら喜びの感情を発し続けているようで実にほほ笑ましかった。気付けば大阪に帰る新幹線がなくなっており、拙宅で朝までゲームに興じたことも含めてよい思い出だ。羽生に勝つという

持っていかれる。

また、黒35に白Aと逃げるのは、黒Bで攻めの調子がついて主導権を握られてしまう。白36は右辺白を捨てることも視野に入れた反発で、さすがの大局観だ。

ここからの黒の石運びが重かった。

寺山怜六段

「白70にトンで白が面白くなっている」と寺山六段。

（榎本弘幸）

……

（黒35は再掲）

持ち時間各3時間
消費 ○ 31分
●1時間15分

いくか、それとも得した歩を使い積極的に攻めていくか。方針を決めるべき岐路に立っている。

前者なら▲8七銀△8一飛▲8六歩が自然。ただそこで△6六歩と拠点を作られ、△6四桂を狙われる筋がうるさい。

羽生の選択は後者だった。▲6三歩はすぐに意図が見えにくく、もったいないようにも映る。局後に羽生は「△6四桂の筋が常に気になるので、先手で▲6四歩とたたけ

の▲3四歩も素直には同金（指了図）と応じた。歩を2枚捨てた代償を、羽生はどこに求めていくのか。

（後藤元気）

【指了図】（図は△3四同金まで）

持ち時間各4時間
消費 ▲1時間49分
△1時間25分

上映時間
①10:30
②14:00
※9/19以降は
上映時間変更予定

● 60歳以上の方はいつでも1,300円
● 毎週水曜日どなたも1,300円（大人）
● 上映期間は11月中旬までを予定

鳥取シネマ
鳥取駅前まるもビル3F・4F
TEL(0857)27-1571

システムハウス21はユニットハウ
システム建築の製造メーカーとしての長年の経験を
自由な設計（天井高・間取・色等）でコストとロス
して、お求めやすい価格で高耐久で安心安全な物
案します。
建築、確認申請もおまかせください。
制作事例
店舗、居室、事務所、休憩室、ホビーハウス、勉強ハウス、
お弁当ショップ、農業倉庫、物流倉庫、コインランドリー等
何でもご相談ください。
ハガネの街、安来から
株式システムハウス21
本社・工場